

MCIJ 2013年罹患数・率報告

国立がん研究センター
がん対策情報センターがん登録センター

松田 智大



国立がん研究センター
がん対策情報センター

National Cancer Center
Center for Cancer Control and Information Services

MCIJ2013がん罹患データ収集について ておよび公表について



国立がん研究センターがん対策情報センター
National Cancer Center
Center for Cancer Control and Information Services

	施設ベース	地域ベース (Population-based)	
	院内がん登録	地域がん登録	全国がん登録
実施主体	医療機関	都道府県	国・都道府県
集計対象	がん診療連携拠点病院等で診断したがん (指定要件)	全国47都道府県内の 病院及び診療所で 診断したがん	全国の病院及び 指定された診療所で診 断したがん (義務)
集計結果	拠点病院の診療実績	都道府県及び全国で の推計罹患数・率	都道府県及び全国での 実測罹患数・率
主たる 集計目的	拠点病院の実態把握 と医療の質向上、 医療機関選択	罹患数の把握 国及び都道府県の がん対策	罹患数の把握 国及び都道府県の がん対策
集計開始	2007年	1951年	2016年
最新集計	2015年診断 427施設 702,866例 (重複登録 あり)	2013年診断 47都道府県 862,452例	

MCIJ2013がん罹患データ収集について ておよび公表について



国立がん研究センターがん対策情報センター
National Cancer Center
Center for Cancer Control and Information Services

- 昨年度、がん政策研究事業「都道府県がん登録データの全国集計と既存の資料の活用によるがん及びがん診療動向把握の研究」班（小班長：松田智大）が実施した「がん罹患モニタリング集計2013年11（MCIJ）」の集計値を利用し、国立がん研究センター がん対策情報センターが、MCIJ2013報告書を編集、刊行。

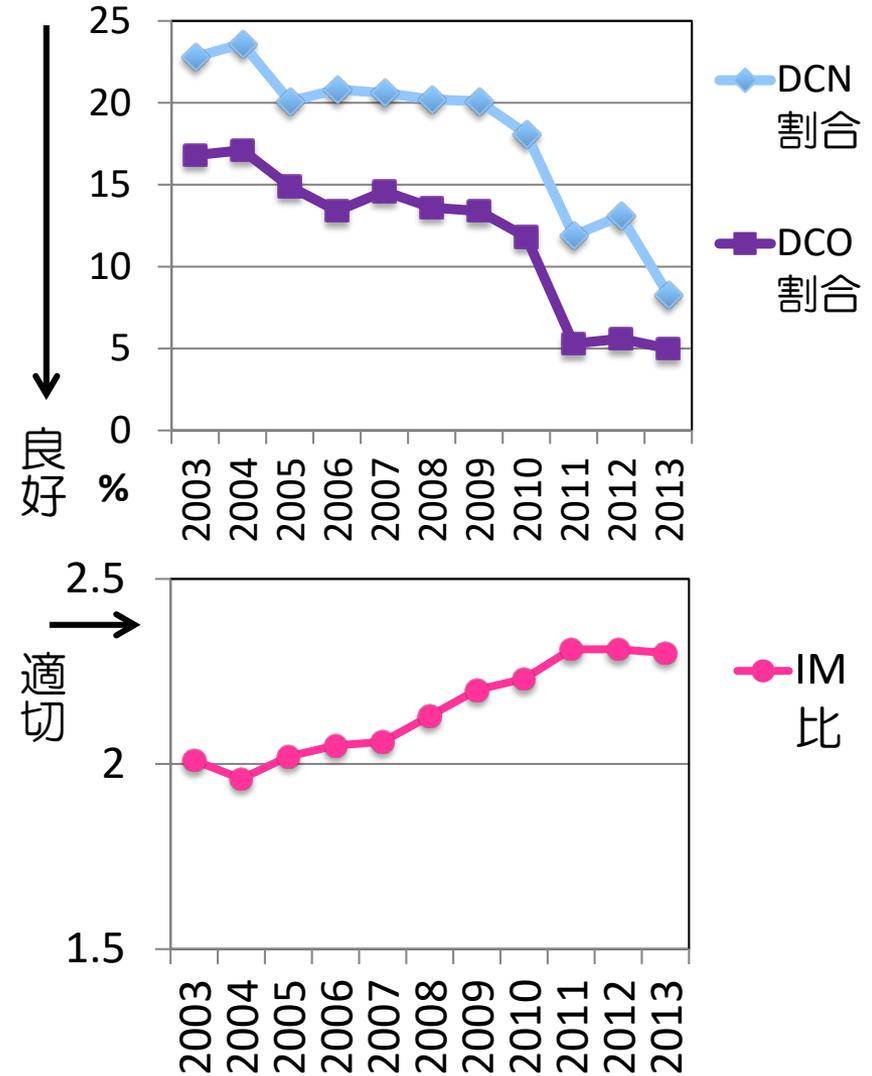
<http://ganjoho.jp/professional/statistics/monita.html>

- 集計値算出には、全国がん登録のデータ処理方法を一部の都道府県で採用し、このことによつて、一部の県では2012年のデータに比較して罹患数が増加し、一部の県では減少している。

MCIJ2013までのデータ精度の推移



患年	推計対象地域 数	精度指標 [†]		
		DCN (%)	DCO (%)	IM比
		平均	平均	平均
2003	13	22.8	16.8	2.01
2004	14	23.6	17.1	1.96
2005	12	20.1	14.9	2.02
2006	15	20.8	13.4	2.05
2007	21	20.6	14.6	2.06
2008	25	20.2	13.6	2.13
2009	32	20.1	13.4	2.20
2010	27	18.1	11.8	2.23
2011	14	11.9	5.3	2.31
2012	28	13.1	5.6	2.31
2013	34	8.3	5.0	2.30



[†]精度指標および診断精度は、2003～2006年は上皮内がんを含む全部位の値、2007年以降は上皮内がんを除く全部位の値、2011年以降は推計対象地域精度基準変更

2013年 がん罹患集計

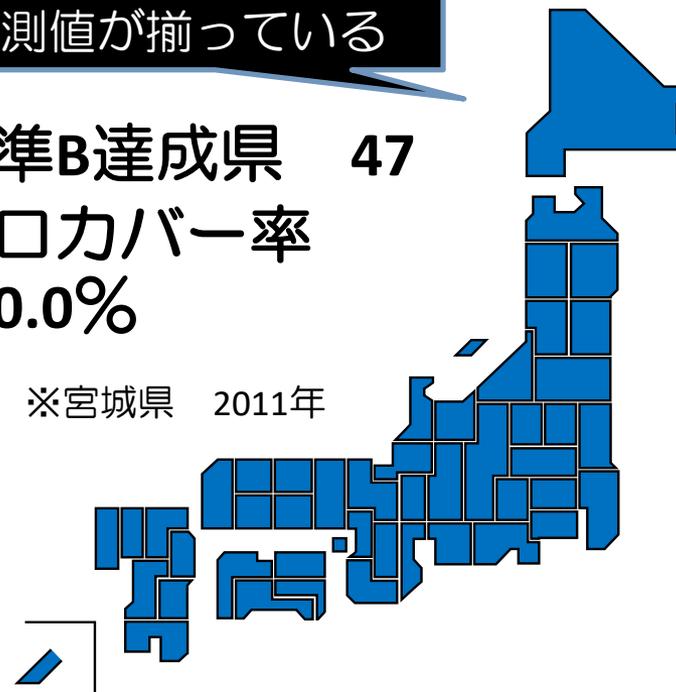


<p>参加 47都道府県 ↓ 基準B 比較可能地域 全47都道府県</p>	<p>北海道 青森 岩手 秋田 (宮城) 山形 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 静岡 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 鳥取 島根 岡山 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高知 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄</p> <p>青字：基準Aを満たした県 34 (全人口の56.7%)</p>
<p>2013年 罹患数 (基準A 34県)</p>	<p>全部位推計：862,452 (2012年 865,231) 男：498,720 女：363,732 DCN割合：8.3% DCO割合：5.0% IM比：2.30</p>

47都道府県の高精度
実測値が揃っている

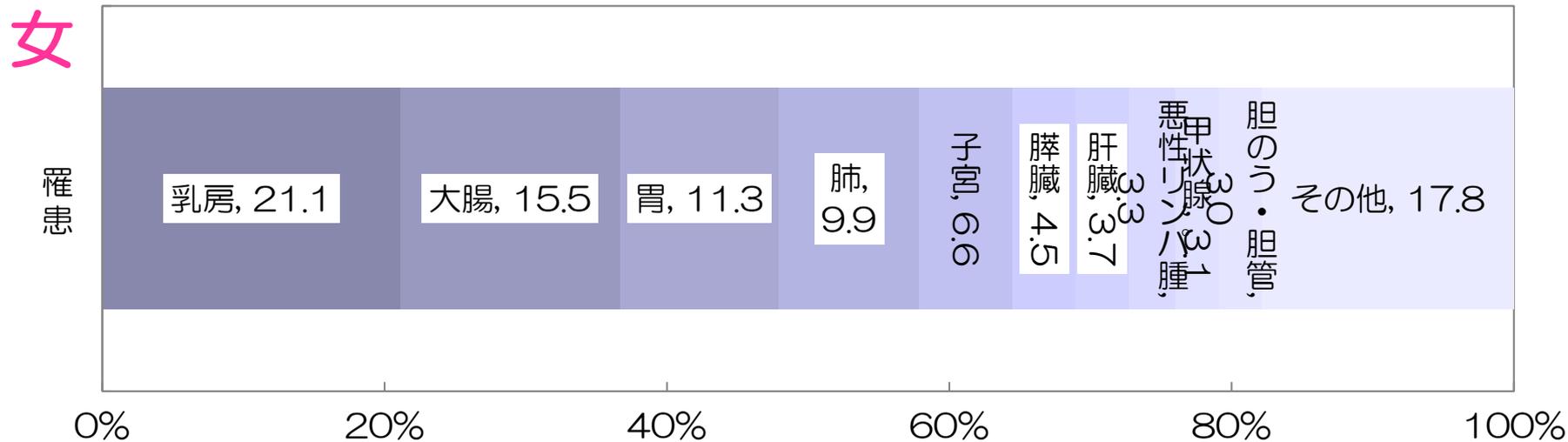
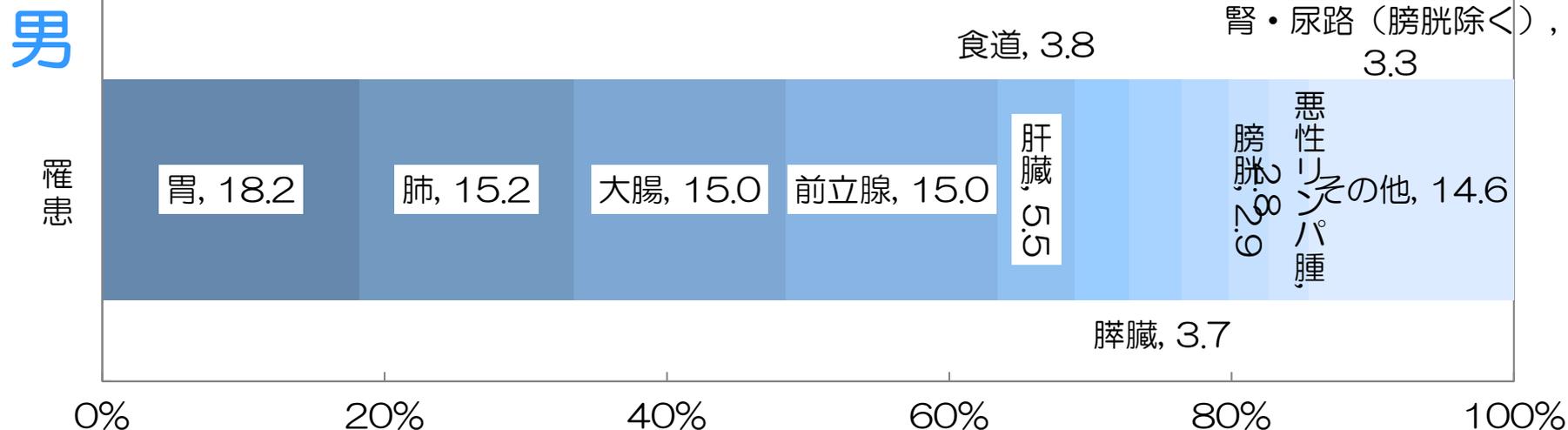
基準B達成県 47
人口カバー率 100.0%

※宮城県 2011年

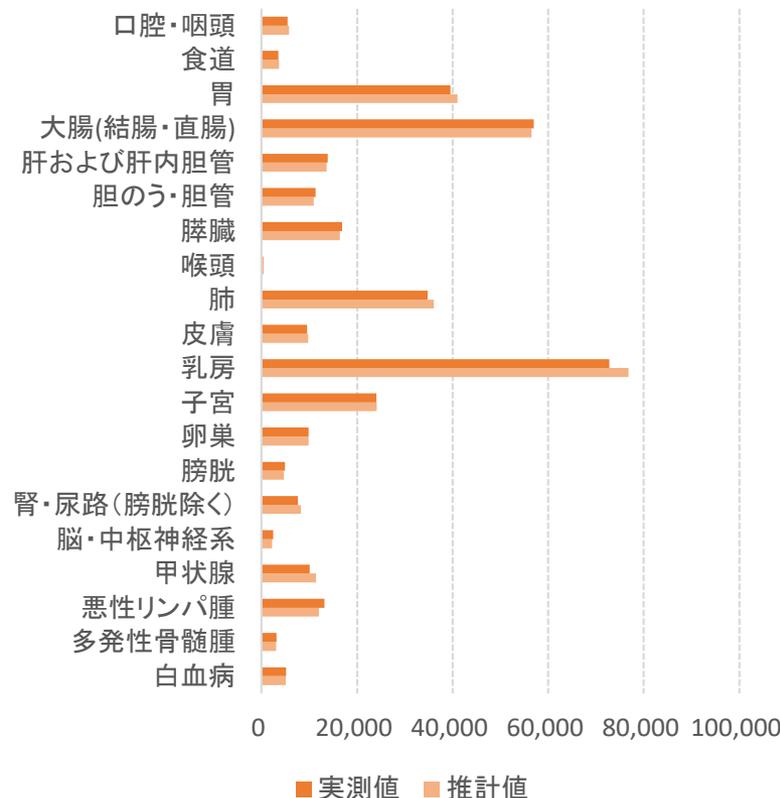
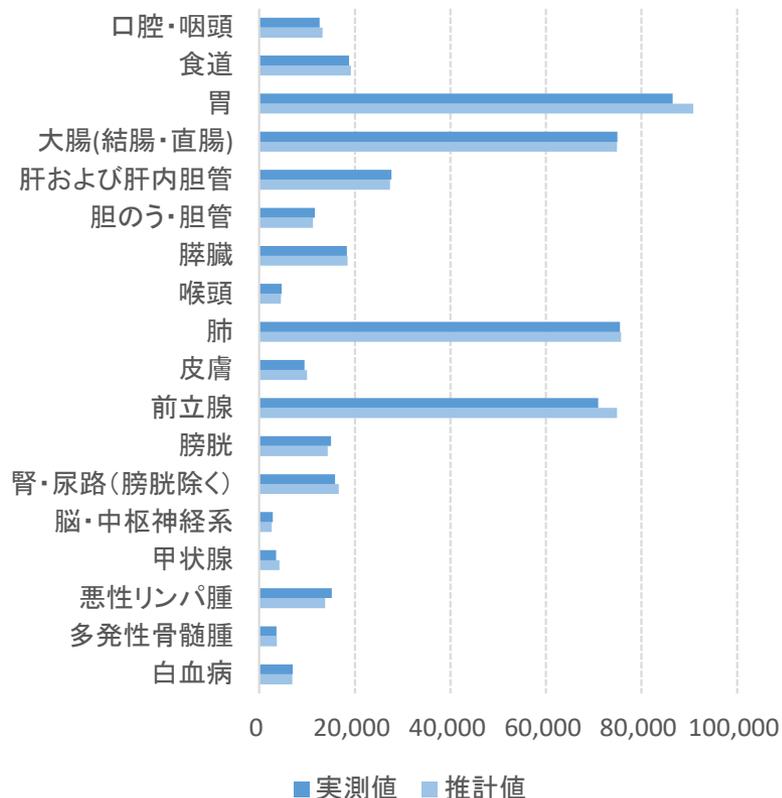


※基準A：DCO<10%かつDCN<20%
かつI/M≥2.0 基準B：DCO<25%またはDCN<30%かつI/M≥1.5

2013年 がん罹患集計 罹患割合



推測値と実測値の比較



高精度県の数値に基づく推測値と47都道府県単純合計の実測値が近似 → 推測なく実測値のみで全国値を集計できる

推測値(全部位) 男498,720 女363,732 男女計862,452

実測値(全部位) 男490,916 女357,914 男女計848,830

都道府県での罹患と死亡との比較 によるがんの実態把握



- 罹患と死亡との比較で、都道府県の、がん予防、発見、治療の実態把握ができる
 - 依然として罹患データ精度の都道府県格差があるので、現時点では大まかな傾向判断のみ ⇒ ランキングは危険
 - 横断面と経時変化の両方を判断材料に
- 解釈の一例
 - ※以下だけではなく、複合的な要因により様々な解釈があります。
 - 罹患↑ 死亡↑ : がん罹患リスクが高い、診断時に臨床進行度が高い、予後の悪い組織型等、無意味ながん検診
 - 罹患↑ 死亡↓ : 有効ながん検診、高い診断技術
 - 罹患↓ 死亡↑ : 医療提供状況の不備（病院配置等）、治療を含めた複合的な悪い要因
 - 罹患↓ 死亡↓ : がん罹患リスクが低い、早期発見、治療を含めた複合的な良い要因

都道府県での罹患と死亡との比較 によるがんの実態把握



- 標準化罹患比・死亡比（ひょうじゅんかかりかんひ・しぼうひ）
 - 人口構成の違いを除去して罹患・死亡率を比較するための指標。ある集団の罹患・死亡率が、基準となる集団と比べてどのくらい高いかを示す比と理解することができ、ある集団で実際に観察された罹患・死亡数が、もしその集団の罹患・死亡率が基準となる集団の死亡率と同じだった場合に予想される罹患・死亡数（期待罹患・死亡数）の何倍であるか、という形で求められます。

標準化罹患比と標準化死亡比の比較



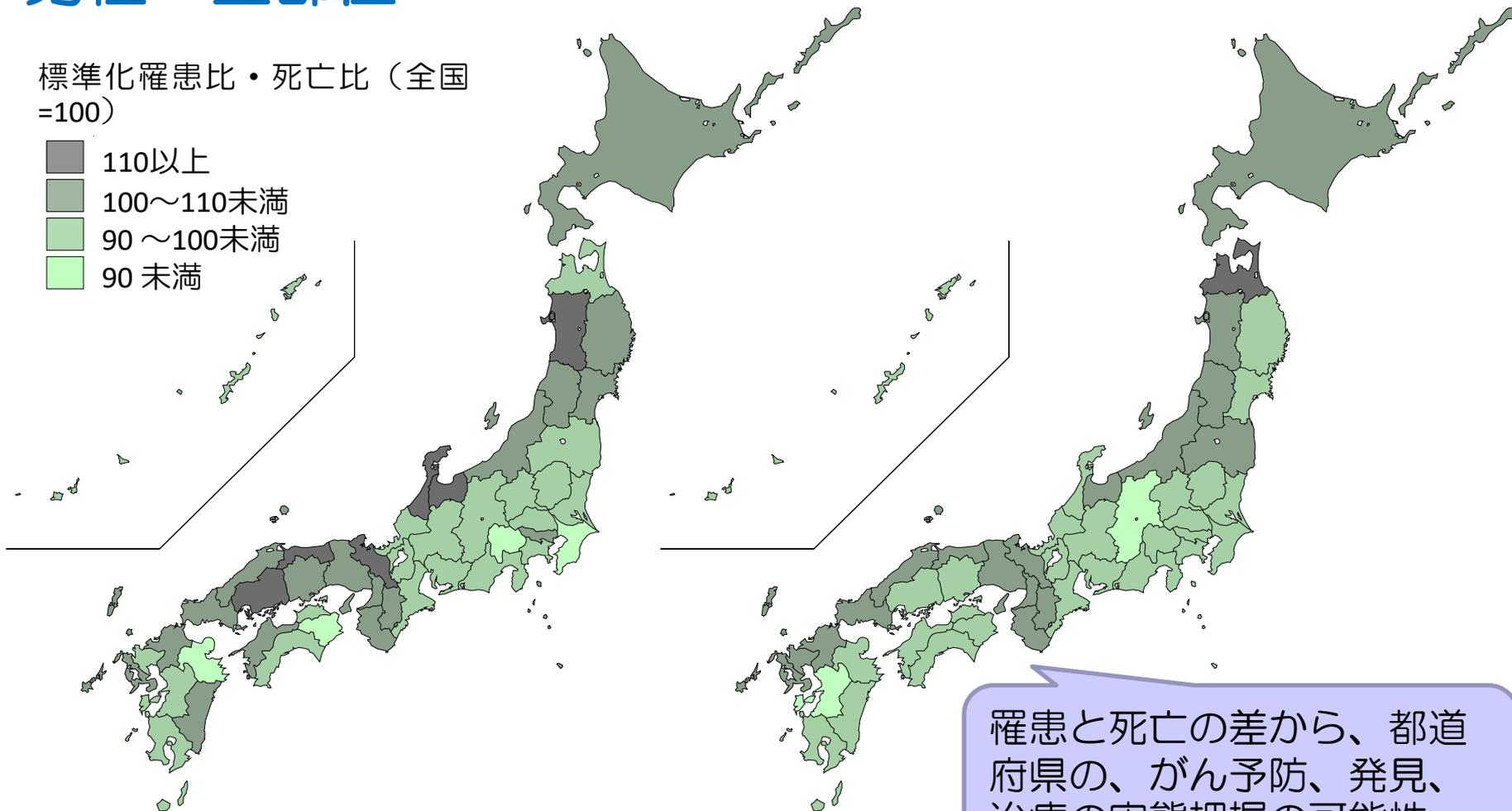
男性 全部位

罹患

死亡

標準化罹患比・死亡比（全国=100）

- 110以上
- 100～110未満
- 90～100未満
- 90未満



罹患と死亡の差から、都道府県の、がん予防、発見、治療の実態把握の可能性。

MCIJから全国がん登録へ今後の予定



	呼称	生存率	収集・確定予定年月
がん政策研究事業 地域がん登録	MCIJ2012	2006-08年 生存率報告	2015/9 (2年9か月後)
	MCIJ2013		2016/12 (3年後)
	MCIJ2014		2017/12 (3年後)
	MCIJ2015	2009-11年 生存率報告	2018/9 (2年9か月後)
全国がん登録	2016年罹患集計		2018/12 (2年後)
	2017年罹患集計		2019/12
	2018年罹患集計		2020/12
	2019年罹患集計		2021/12
	2020年罹患集計 ⋮	2012-15年 生存率報告 ⋮	2022/12 ⋮

47都道府県
データ揃う

全国がん
初集計

研究班での
集計終了